

---

平成29年度

# 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

---

【恵庭市小・中学校における調査結果（報告）】



平成30年4月

恵庭市教育委員会

## ◆ 目 次 ◆

1. 調査の概要	P 1
2. 用語の解説と説明	P 2
3. 調査結果の掲載方法	P 3
4. 北海道の調査結果について	P 3
5. 実技の結果	P 4
小学校	
中学校	
6. 体格と肥満度に関する調査結果	P 8
小学校	
中学校	
7. 児童生徒質問用紙調査の結果	P 1 2
小学校（児童）	
中学校（生徒）	
8. 学校質問紙調査の結果	P 2 0

# 平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

## 【恵庭市における調査結果の状況】

### 1 調査の概要

#### ① 調査の目的

子どもの体力が低下している状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

恵庭市が全国、全道的な状況との関係において自らの子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取り組みを通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。なお、平成29年度も前年度同様、全学校を対象として調査を実施する。

学校が各児童・生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

#### ② 調査の対象学年

- ・小学校第5学年
- ・中学校第2学年

#### ③ 調査の内容

##### I. 児童・生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という）測定方法等は新体力テストの方法による〔小学校8種目〕  
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ

〔中学校8種目〕  
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走または20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ

##### イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣、食習慣等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」）

##### II. 学校に対する質問紙調査

学校における体育、保健体育の指導及び特別活動等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という）

#### ④ 調査期間

平成29年4月から7月までの期間で実施

#### ⑤ 参加状況（調査を受けた学校数、児童生徒数）

	小学校		中学校	
	学校数	児童数	学校数	生徒数
恵庭市	8校	655人	5校	664人
全国	19,889校	1,050,062人	9,941校	961,749人
全道	1,043校	41,039人	623校	40,550人

## 2 用語の解説と説明

体カテスト種目	単位	体力要素	測定	
① 握力	kg	筋力	左右握力の平均値	
② 上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数	
③ 長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離	
④ 反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数	
⑤ 持久走	秒	全身持久力・長距離走能力	男子1500m, 女子1000mの走行時間 (中学校選択)	
	20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数 (小学校・中学校選択)
⑥ 50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間	
⑦ 立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離	
⑧	ソフトボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離 (小学校)
	ハンドボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ハンドボールを遠投した距離 (中学校)
体力合計点	点	8種目の体カテスト成績を1点から10点に得点化して総和した体カテスト合計得点		
総合評価	5段階	8種目の体カテストをすべて実施した場合、体カテスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価		

用語	解説
標本数	平均値、標準偏差、T得点を算出した人数。
平均値	調査結果（テスト成績）の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値＝調査結果の総和/標本数」
標準偏差	調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る（いずれも正規分布の場合） 「標準偏差＝分散の平方根、分散＝偏差平方和/(標本数-1)、 偏差平方和＝偏差の平方の総和、偏差＝調査結果-平均値」
T得点	全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。 平均値50点、標準偏差10点の標準得点。 「T得点＝50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」

※公立校の全国・都道府県の値は、公立校を対象としたものです。

※国立校および私立校の全国の値は、国立・公立・私立校を対象とし、都道府県の値は表示されません。

### 【標準体重と肥満度判定】

「児童・生徒の健康診断マニュアル（改訂版）」より

平成18年3月31日発行 財団法人日本学校保健会

$$\text{標準体重} = a \times \text{身長 (cm)} - b$$

$$\text{肥満度 (\%)} = [\text{自分の体重 (kg)} - \text{標準体重 (kg)}] \div \text{標準体重 (kg)} \times 100$$

#### ■標準体重を求める係数

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
9 (小4)	0.687	61.390	0.652	56.992
<b>10 (小5)</b>	<b>0.752</b>	<b>70.461</b>	<b>0.730</b>	<b>68.091</b>
11 (小6)	0.782	75.106	0.803	78.846
12 (中1)	0.783	75.642	0.796	76.934
<b>13 (中2)</b>	<b>0.815</b>	<b>81.348</b>	<b>0.655</b>	<b>54.234</b>
14 (中3)	0.832	83.695	0.594	43.264

#### ■判定基準

肥満度	判定
50%以上	高度肥満
30 ~ 49.9%	中等度肥満
20 ~ 29.9%	軽度肥満
-19.9 ~ 19.9%	正常
-29.9 ~ -20%	やせ
-30%以下	高度やせ

### 3 調査結果の掲載方法

全道・全国平均値との比較として、「記号」や「文言」で表します。

#### 1. 「cm・m・kg・回・点・秒」の比較、表示方法

ポイント差	文言	記号
+5.0以上	上回る	△
+2.0～ +4.9	やや上回る	◇
-1.9～ +1.9	ほぼ同程度	≒
-2.0～ -4.9	やや下回る	◆
-5.0以下	下回る	▼

#### 2. 「%」の比較、表示方法

ポイント差	文言	記号
+5.0%以上	上回る	△
+2.0%～ +4.9%	やや上回る	◇
-1.9%～ +1.9%	ほぼ同程度	≒
-2.0%～ -4.9%	やや下回る	◆
-5.0%以下	下回る	▼

恵庭市における「実技の結果・体格と肥満度に関する調査結果・児童生徒質問用紙調査の結果・学校質問紙調査の結果」の実際の結果平均数値については、他市町村等との単純比較や序列化などに結びつき、調査の目的を損ないかねないとの考えから、公表いたしません。  
同様の理由により、市内小・中学校ごとの結果数値についても公表いたしません。

### 4 北海道の調査結果について

北海道教育委員会としての調査結果報告書については、下記のアドレスから、PDF形式でダウンロードすることができます。

北海道（公立）における調査結果報告書  
 ⇒ <http://www.dokyojoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/>

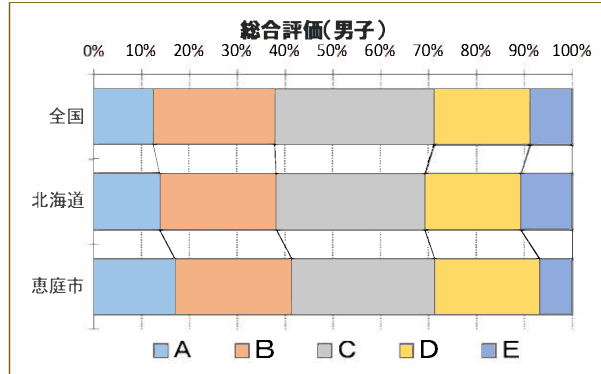
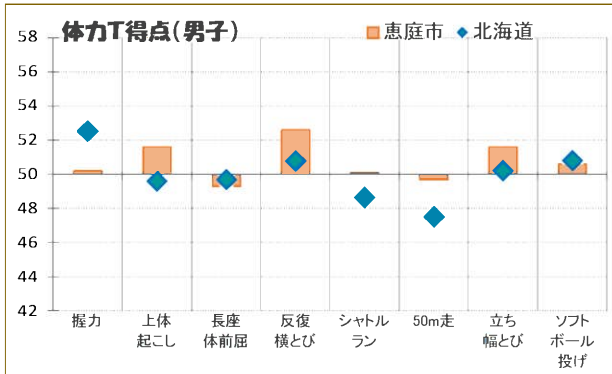


## 5 実技の結果

### <小学校男子>

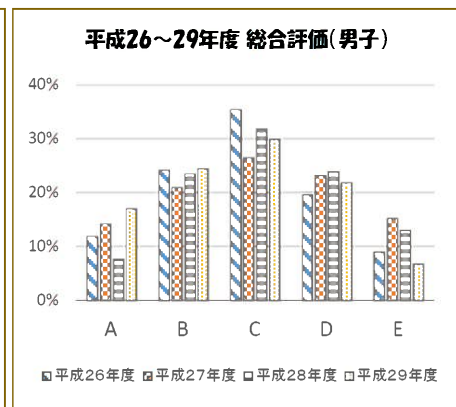
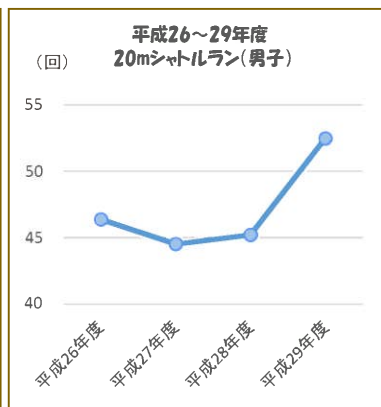
- 全国平均と比較して、「反復横とび・立ち幅とび」はやや上回っており、「握力・上体起こし・長座体前屈・20mシャトルラン・50m走・ソフトボール投げ」はほぼ同程度である。
- 全道平均と比較して、「20mシャトルラン・立ち幅とび」はやや上回っており、「握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・ソフトボール投げ」はほぼ同程度である。

小学校（男子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	小学校（男子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
握力 (kg)	16.51	17.44	≒	≒	ソフトボール投げ (m)	22.53	23.19	≒	≒
上体起こし (回)	19.92	19.67	≒	≒	体力合計点 (点)	54.16	53.95	≒	≒
長座体前屈 (cm)	33.15	32.94	≒	≒	総合評価 (%)	A	12.5%	◇	◇
反復横とび (点)	41.95	42.59	◇	≒		B	25.5%	≒	≒
20mシャトルラン (回)	52.24	49.36	≒	◇		C	33.2%	◆	≒
50m走 (秒)	9.37	9.61	≒	≒		D	20.1%	≒	≒
立ち幅とび (cm)	151.71	152.06	◇	◇		E	8.8%	◆	◆



### ■平成26～28年度との比較■

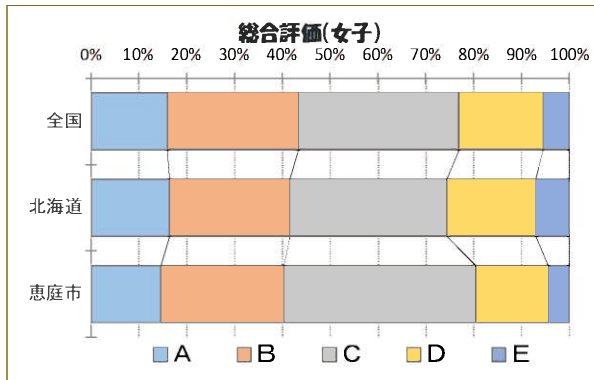
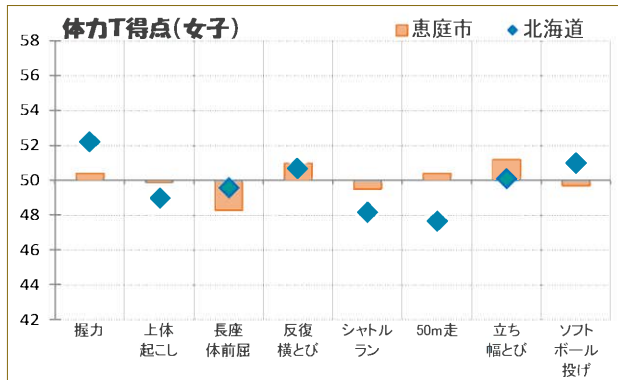
- 「反復横とび」は過去3年間の記録を上回っており、平均記録が伸びている。また「20mシャトルラン」の記録も過去3年間の記録を大きく上回っている。
- 総合評価は、A評価の割合が前年度より増加し、E評価の割合は前年度より減少している。



<小学校女子>

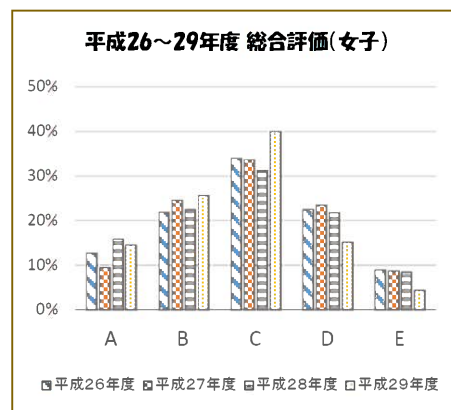
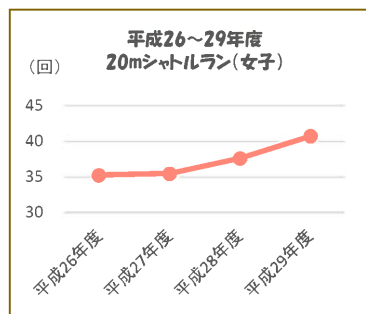
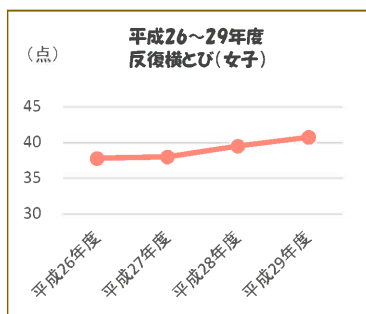
- 全国平均と比較して、「立ち幅とび」はやや上回っており、「握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・ソフトボール投げ」はほぼ同程度である。
- 全道平均と比較して、「20mシャトルラン・立ち幅とび」はやや上回っており、「握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・ソフトボール投げ」はほぼ同程度である。

小学校（女子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	小学校（女子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	
握力 (kg)	16.12	16.95	≒	≒	ソフトボール投げ (m)	13.94	14.45	≒	≒	
上体起こし (回)	18.81	18.29	≒	≒	体力合計点 (点)	55.72	55.23	≒	≒	
長座体前屈 (cm)	37.43	37.06	≒	≒	総合評価 (%)	A	16.0%	16.4%	≒	≒
反復横とび (点)	40.06	40.53	≒	≒		B	27.4%	25.2%	≒	≒
20mシャトルラン (回)	41.62	38.64	≒	◇		C	33.6%	32.8%	△	△
50m走 (秒)	9.60	9.80	≒	≒		D	17.6%	18.6%	◆	◆
立ち幅とび (cm)	145.47	145.58	◇	◇		E	5.5%	7.0%	≒	◆



■平成26～28年度と比較■

- 「反復横とび・20mシャトルラン」は過去3年間の記録を上回っており、平均記録が伸びている。また「上体起こし・50m走」は過去3年の記録をやや上回っている。
- 総合評価については、B・C評価の割合が前年度よりやや増加し、A・D・E評価の割合が前年度より減少している。

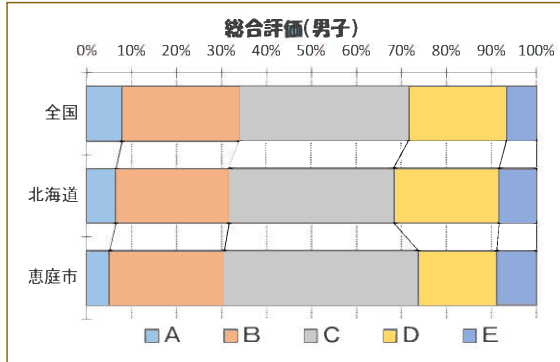
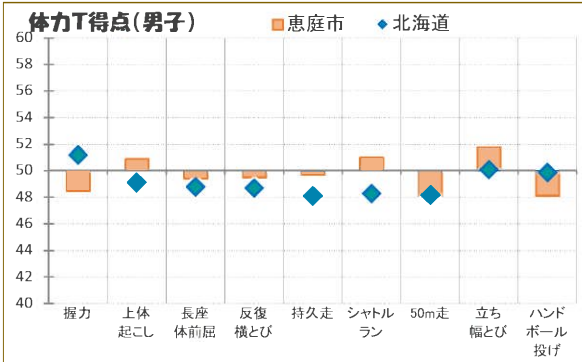


## 5 実技の結果

### <中学校男子>

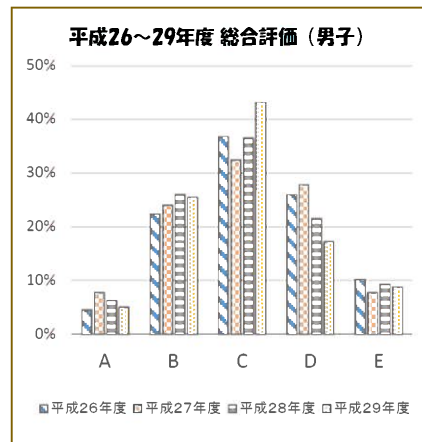
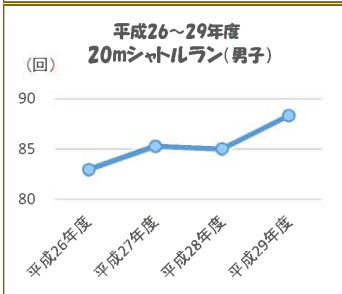
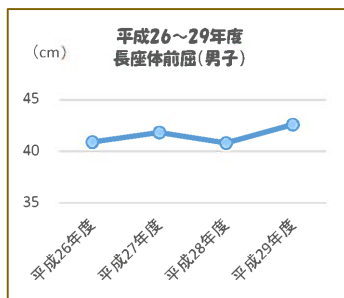
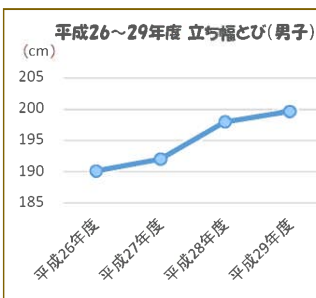
- ◎全国平均と比較して、「立ち幅とび」が大きく上回った。「20mシャトルラン」はやや上回っており、「握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・持久走・50m走・ハンドボール投げ」はほぼ同程度である。
- ◎全道平均と比較して、「持久走・20mシャトルラン」が大きく上回った。「立ち幅とび」はやや上回っており、「握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・ハンドボール投げ」はほぼ同程度である。

中学校（男子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	中学校（男子）	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
握力 (kg)	28.89	29.73	≒	≒	ハンドボール投げ (m)	20.56	20.48	≒	≒
上体起こし (回)	27.45	26.87	≒	≒	体力合計点 (点)	42.11	41.19	≒	≒
長座体前屈 (cm)	43.20	41.88	≒	≒	総合評価 (%)	A	7.9%	◆	≒
反復横とび (点)	51.89	50.87	≒	≒		B	26.2%	≒	≒
持久走 (秒)	391.23	403.36	≒	△		C	37.6%	△	△
20mシャトルラン (回)	85.99	81.75	◇	△		D	21.7%	◆	▼
50m走 (秒)	7.99	8.14	≒	≒		E	6.6%	◇	≒
立ち幅とび (cm)	194.54	194.91	△	◇					



### ■平成26～28年度と比較■

- ◎「立ち幅とび」は過去3年間の記録を上回っており、平均記録が伸びている。また「長座体前屈・20mシャトルラン」は過去3年間の記録をやや上回っている。
- ◎総合評価については、C評価の割合が前年度より増加しており、A・B・D・E評価の割合は前年度よりやや減少している。

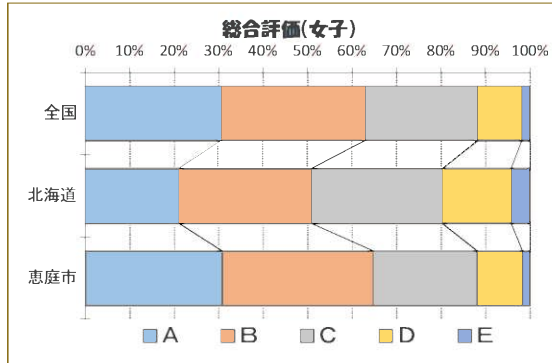
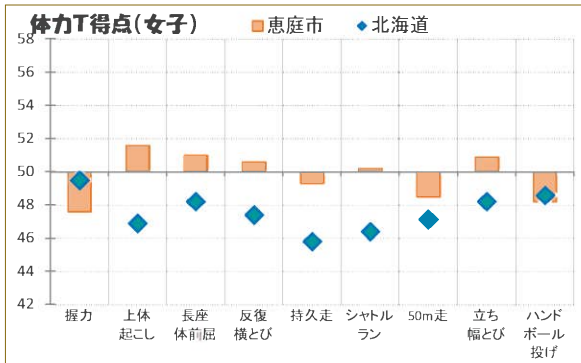




<中学校女子>

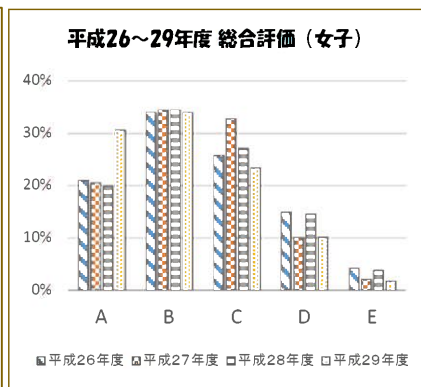
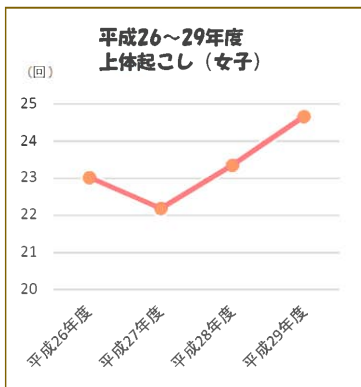
- 全国平均と比較して、「立ち幅とび」はやや上回っており、「握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・ハンドボール投げ」はほぼ同程度である。「持久走」はやや下回っている。
- 全道平均と比較して、「持久走・20mシャトルラン・立ち幅とび」が大きく上回った。また、「上体起こし・長座体前屈・反復横とび」はやや上回っており、「握力・50m走・ハンドボール投げ」はほぼ同程度である。

中学校(女子)	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	中学校(女子)	全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)	
握力(kg)	23.82	23.61	≒	≒	ハンドボール投げ(m)	12.96	12.38	≒	≒	
上体起こし(回)	23.73	21.90	≒	◇	体力合計点(点)	49.97	46.59	≒	◇	
長座体前屈(cm)	45.86	44.05	≒	◇	総合評価 (%)	A	30.5%	21.1%	≒	△
反復横とび(点)	46.76	45.03	≒	◇		B	32.4%	29.9%	≒	◇
持久走(秒)	287.36	305.35	◆	△		C	25.2%	29.4%	◆	▼
20mシャトルラン(回)	59.14	51.79	≒	△		D	10.0%	15.5%	≒	▼
50m走(秒)	8.80	9.03	≒	≒		E	1.9%	4.2%	≒	◆
立ち幅とび(cm)	168.57	164.14	◇	△						



■平成26～28年度と比較■

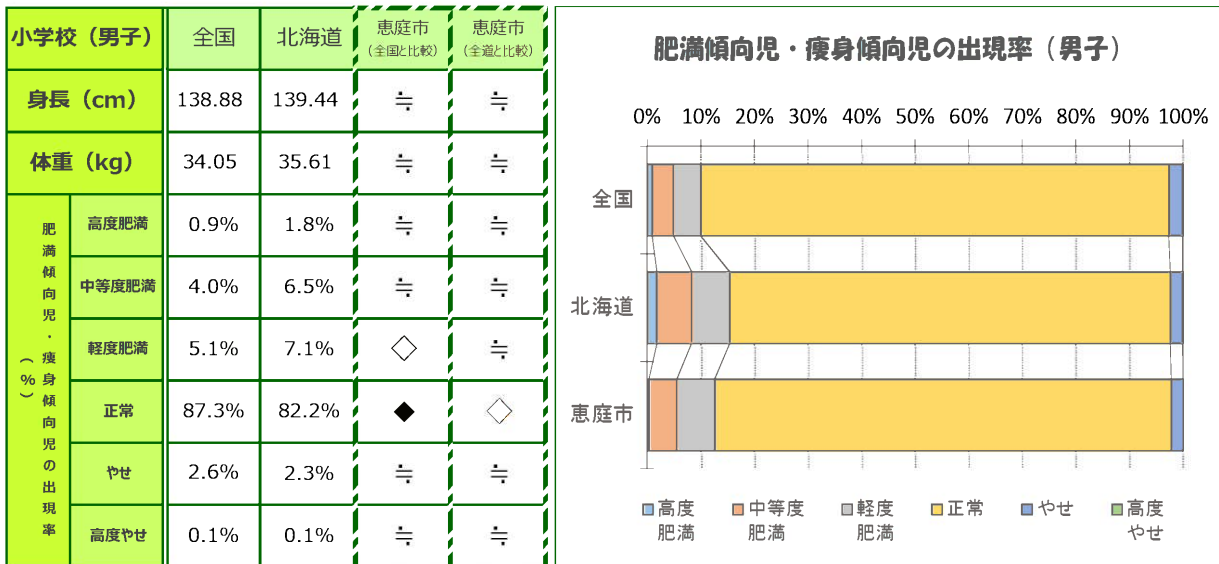
- 「上体起こし・長座体前屈・20mシャトルラン・50m走・立ち幅とび」は、過去3年間の記録をやや上回っている。
- 総合評価については、A評価の割合が前年度より大きく増加しており、B・C・D・E評価の割合が前年度よりやや減少した。



## 6 体格と肥満度に関する調査結果

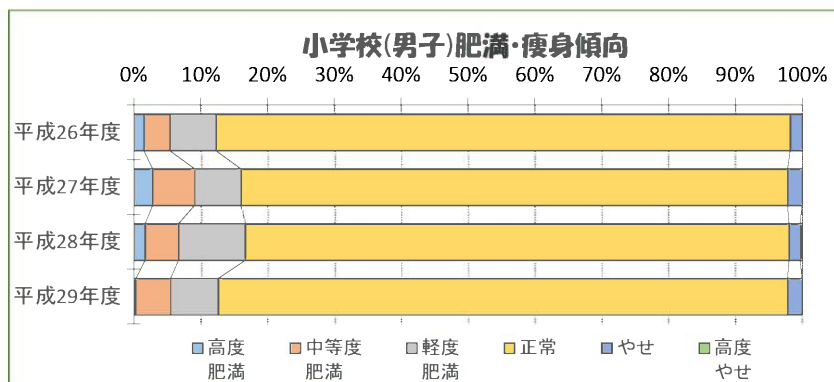
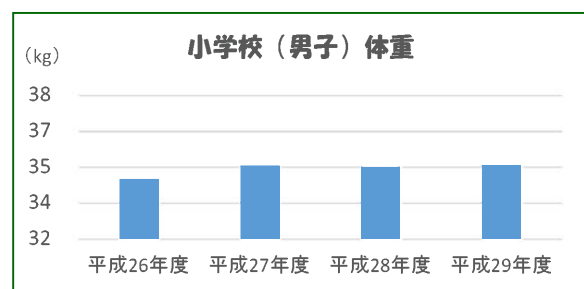
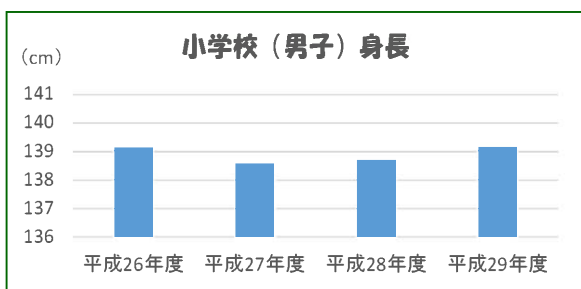
### <小学校男子>

- 全国平均と比較して、身長・体重ともにほぼ同程度である。肥満・痩身傾向については、軽度肥満児童の割合がやや上回っており、正常児童の割合はやや下回っている。
- 全道平均と比較して、身長・体重ともにほぼ同程度である。肥満・痩身傾向については、正常児童の割合がやや上回っている。



### ■平成26～28年度と比較■

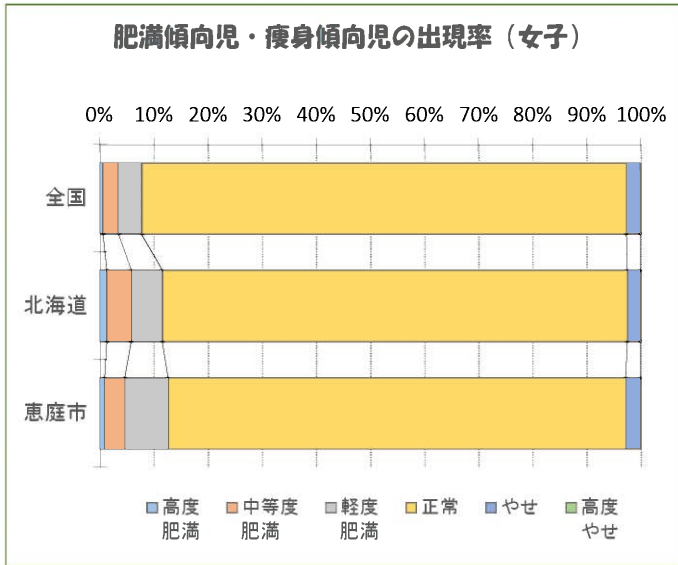
- 過去3年間と比較して、身長・体重ともに大きな変化はない。
- 肥満・痩身傾向については、軽度肥満の割合が前年度より減少しており、正常児童の割合が前年度より増加している。



### <小学校女子>

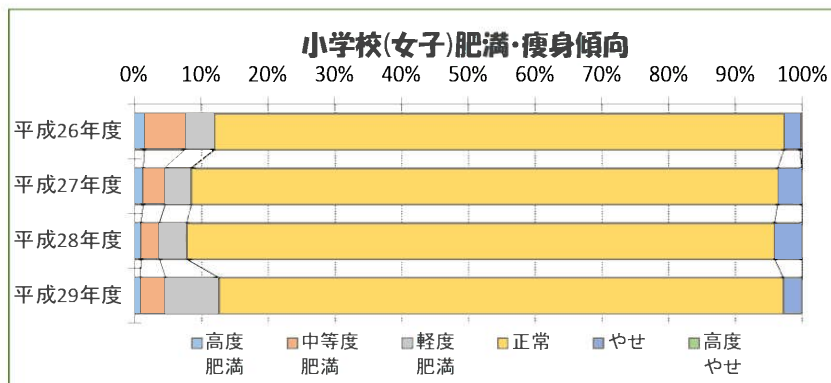
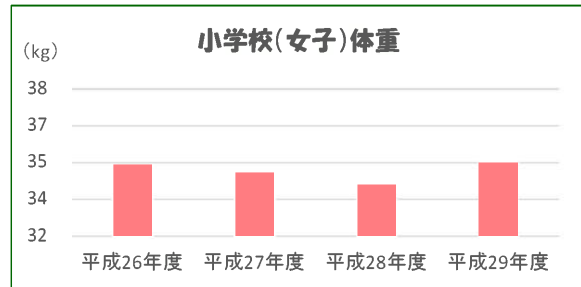
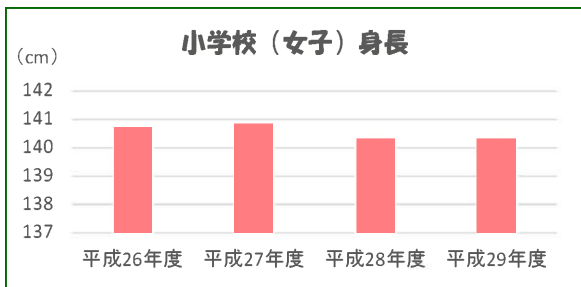
- 全国平均と比較して、身長・体重ともにほぼ同程度である。肥満・痩身傾向については、軽度肥満児童の割合がやや上回っており、正常児童の割合は大きく下回っている。
- 全道平均と比較して、身長・体重ともにほぼ同程度である。肥満・痩身傾向については、軽度肥満児童の割合がやや上回っており、正常児童の割合はほぼ同程度である。

小学校（女子）		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		140.08	140.79	≒	≒
体重 (kg)		33.95	35.24	≒	≒
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	0.6%	1.3%	≒	≒
	中等度肥満	2.8%	4.5%	≒	≒
	軽度肥満	4.3%	5.7%	◇	◇
	正常	89.7%	86.0%	▼	≒
	やせ	2.6%	2.5%	≒	≒
	高度やせ	0.1%	0.0%	≒	≒



### ■平成26～28年度と比較■

- 過去3年間と比較して、身長・体重ともに大きな変化はない。
- 肥満・痩身傾向については、軽度肥満の割合が増加傾向にあり、正常児童の割合は過去3年間より減少している。体育の時間だけでなく、日頃から運動に親しんだり、日常生活の「歩くこと」の重要性などをあらためて呼びかける必要がある。

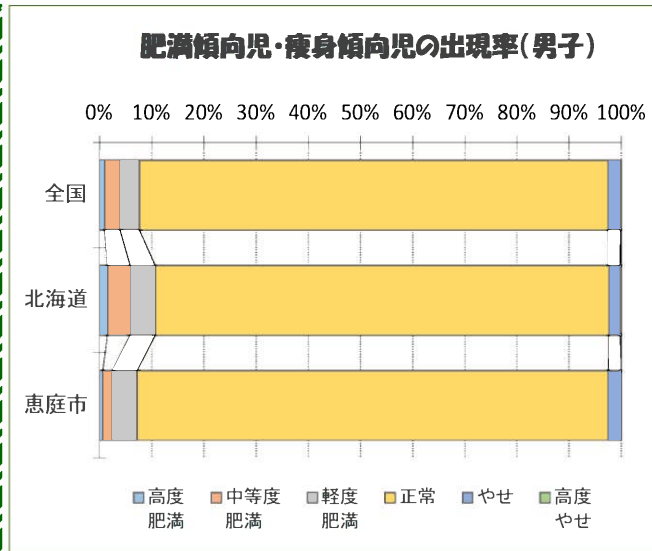


## 6 体格と肥満度に関する調査結果

### <中学校男子>

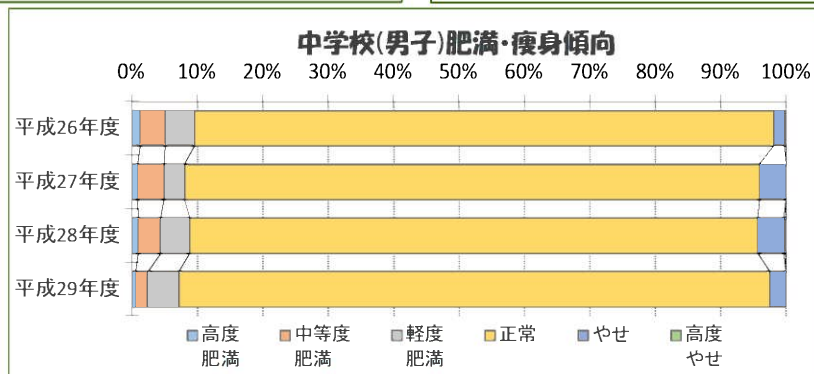
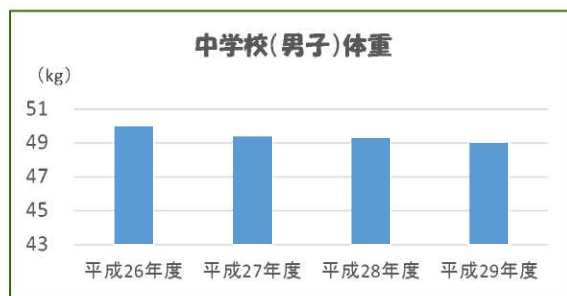
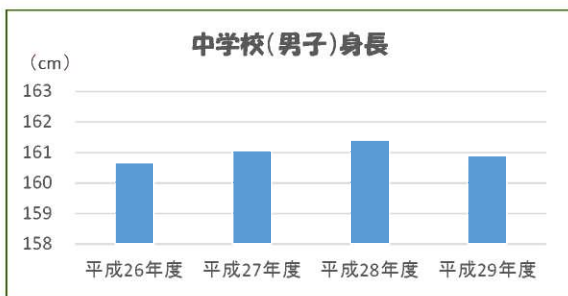
- 全国平均と比較して、身長・体重ともにほぼ同程度である。肥満・痩身傾向についても、ほぼ同程度の割合である。
- 全道平均と比較して、身長・体重ともにほぼ同程度である。肥満・痩身傾向については、中等度肥満生徒の割合がやや下回っており、正常生徒の割合がやや上回っている。

中学校(男子)		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		159.98	161.23	≒	≒
体重 (kg)		48.58	50.55	≒	≒
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	1.0%	1.5%	≒	≒
	中等度肥満	2.9%	4.4%	≒	◆
	軽度肥満	3.7%	4.7%	≒	≒
	正常	89.8%	87.0%	≒	◇
	やせ	2.4%	2.2%	≒	≒
	高度やせ	0.1%	0.2%	≒	≒



### ■平成26～28年度と比較■

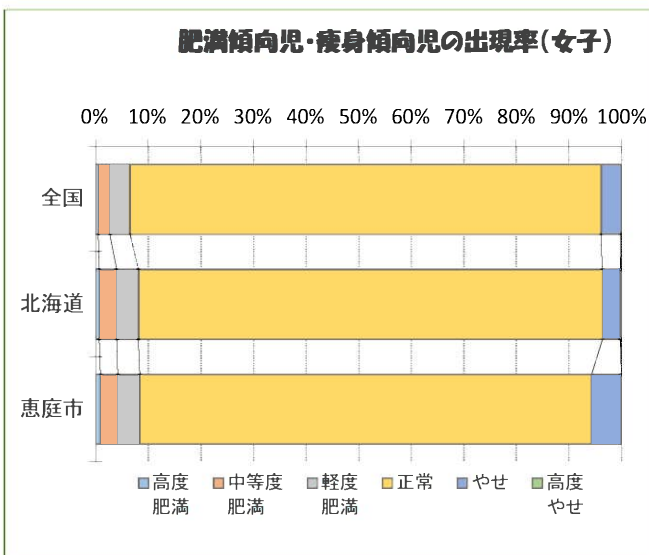
- 過去3年間と比較して、身長は前年度より下回っているが、体重は最も低く、低下傾向にある。
- 肥満・痩身傾向については、軽度肥満の割合がやや増加しているものの、中等度肥満の割合が減少し、全体としては減少傾向にあると考えられる。正常児童の割合については、過去3年間を上回っている。



<中学校女子>

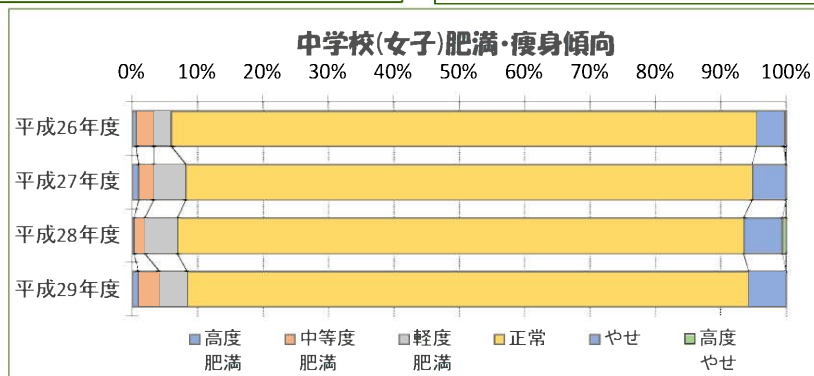
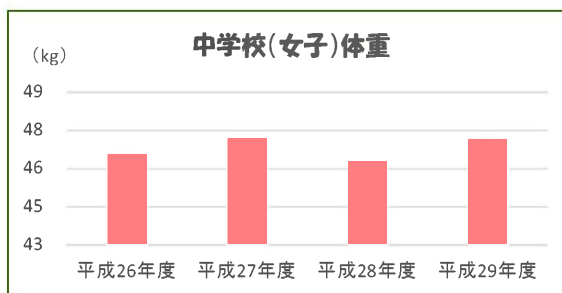
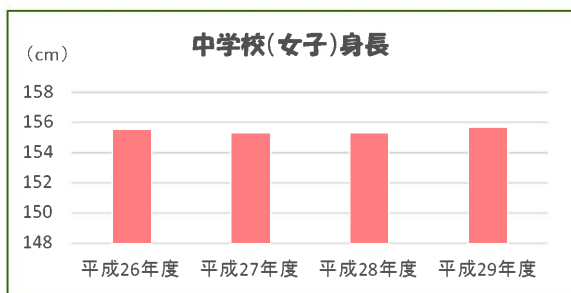
- 全国平均と比較して、身長・体重ともにほぼ同程度である。肥満・痩身傾向については、正常生徒の割合がやや下回っている。
- 全道平均と比較して、身長・体重ともにほぼ同程度である。肥満・痩身傾向については、正常生徒の割合がやや下回っており、やせ生徒の割合がやや上回っている。

中学校(女子)		全国	北海道	恵庭市 (全国と比較)	恵庭市 (全道と比較)
身長 (cm)		154.87	155.27	≒	≒
体重 (kg)		46.71	47.45	≒	≒
肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%)	高度肥満	0.5%	0.7%	≒	≒
	中等度肥満	2.2%	3.3%	≒	≒
	軽度肥満	3.8%	4.1%	≒	≒
	正常	89.6%	88.3%	◆	◆
	やせ	3.8%	3.4%	≒	◇
	高度やせ	0.1%	0.2%	≒	≒



■平成26～28年度と比較■

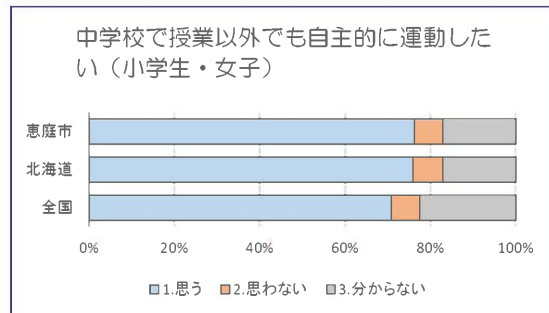
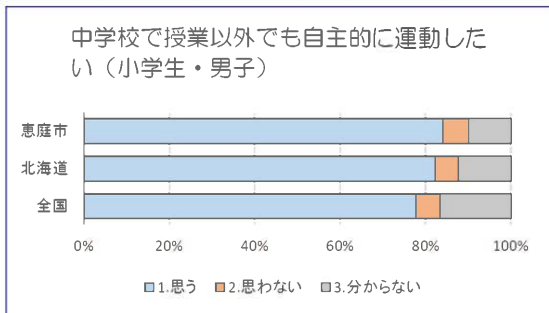
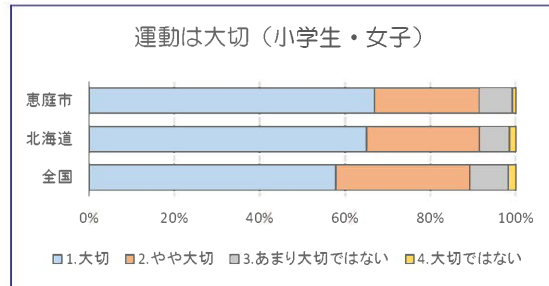
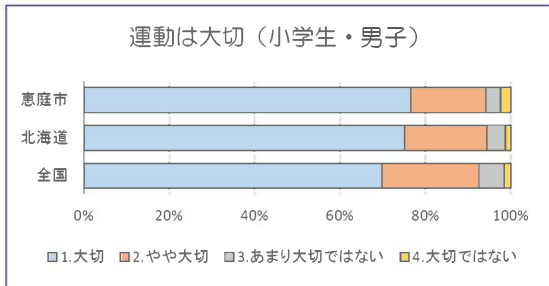
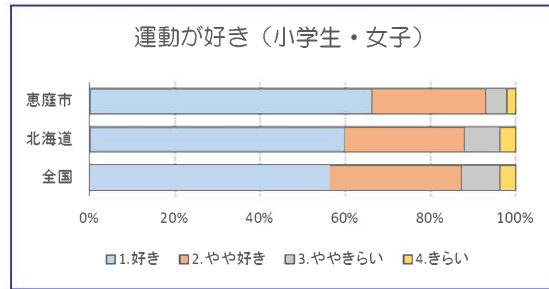
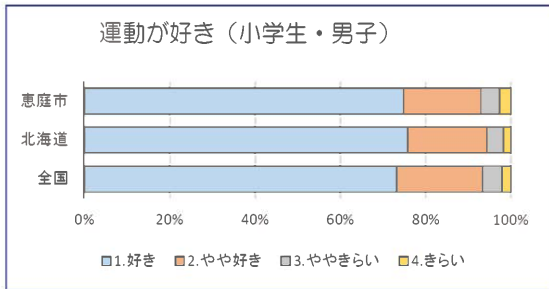
- 過去3年間と比較して、身長はほぼ同程度で大きな変化はないが、体重は前年度より増加している。
- 肥満・痩身傾向については、中等度肥満の割合が前年度より増加し、正常生徒の割合は過去3年間より減少している。体育の時間だけではなく、日頃から運動に親しんだり、日常生活の「歩くこと」の重要性などをあらためて呼びかける必要がある。



## 7 児童生徒質問用紙調査の結果（小学校）

### 運動に対する意識

- ㊦運動が「好き」と回答した割合について、男子は全国平均をやや上回っており、女子は全国・全道平均を大きく上回っている。
- ㊦運動が「大切」と回答した割合について、男女ともに全道平均をやや上回っており、全国平均を大きく上回っている。
- ㊦中学校で授業以外でも自主的に運動したいと思うと回答した割合について、男女ともに全国・全道平均をやや上回っている。



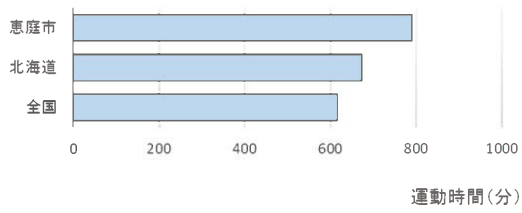
## 運動習慣について

㊦ 体育の授業以外の運動やスポーツの時間について、1週間の総運動時間を全国・全道平均と比較すると、男女ともに大きく上回っている。

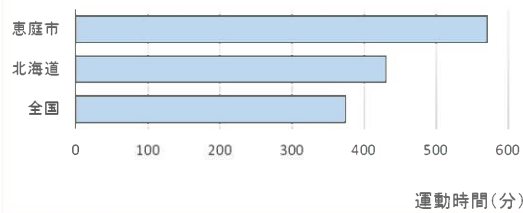
㊦ 運動部やスポーツクラブの所属について、「地域のスポーツクラブ」に所属していると回答した割合は、男女ともに全道・全国平均を上回っている。また、「入っていない」と回答した割合は、全国平均と比較すると男女ともにやや上回っており、全道平均と比較すると男子がやや上回っている。

㊦ 運動部や地域のスポーツクラブに入った一番強いきっかけとしては、女子は「自分からすすんで」という回答が全国・全道と比較してやや上回っている。

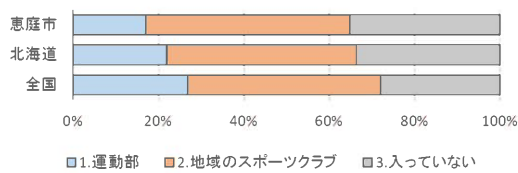
1週間の総運動時間（小学生・男子）



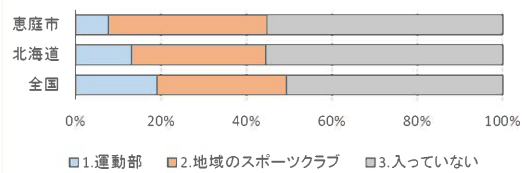
1週間の総運動時間（小学生・女子）



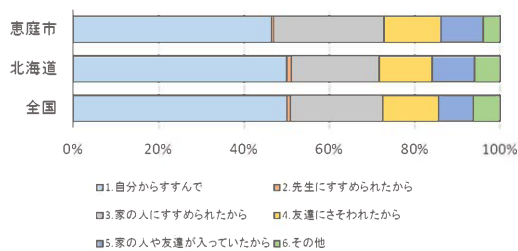
運動部やスポーツクラブの所属  
※複数回答可（小学生・男子）



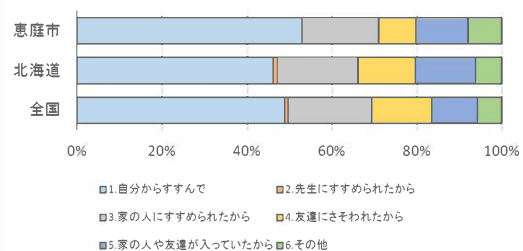
運動部やスポーツクラブの所属  
※複数回答可（小学生・女子）



運動部や地域のスポーツクラブに入っ  
た一番強いきっかけ（小学生・男子）



運動部や地域のスポーツクラブに入っ  
た一番強いきっかけ（小学生・女子）



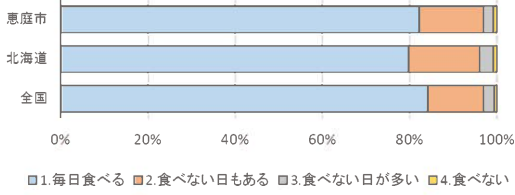
## 生活習慣について

●朝食を「毎日食べる」と回答した割合については、全国平均と比較して、男女ともにやや下回っている。また、全道平均と比較すると、男女ともにやや上回っている。

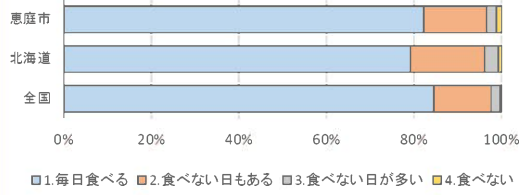
●夕食を「時間は決まっていないが毎日食べる」と回答した割合については、全国平均と比較して、男女ともにやや上回っている。全道平均と比較すると、男女ともにほぼ同程度である。

●登校方法について、「徒歩」と回答した割合が男女ともに最も高く、全道・全国平均と比べて上回っている。

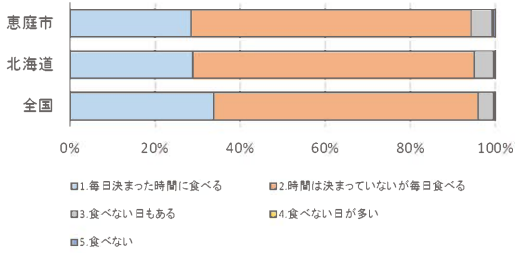
朝食を食べる（小学生・男子）



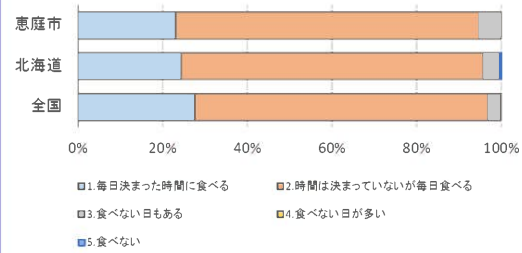
朝食を食べる（小学生・女子）



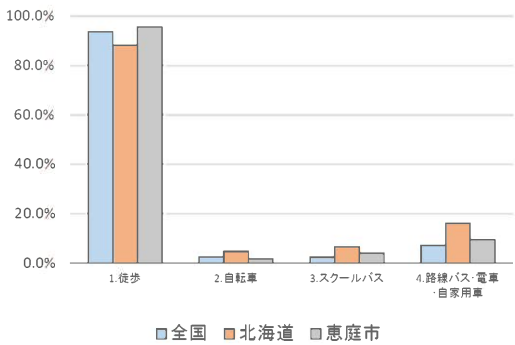
夕食を食べる（小学生・男子）



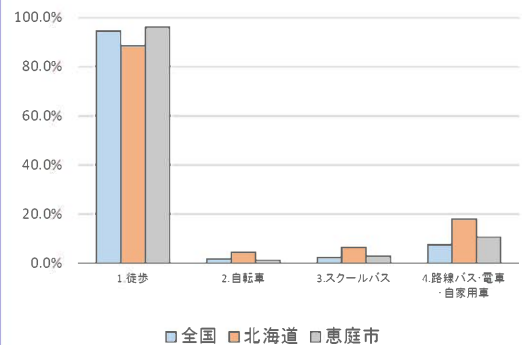
夕食を食べる（小学生・女子）



登校方法（小学生・男子）



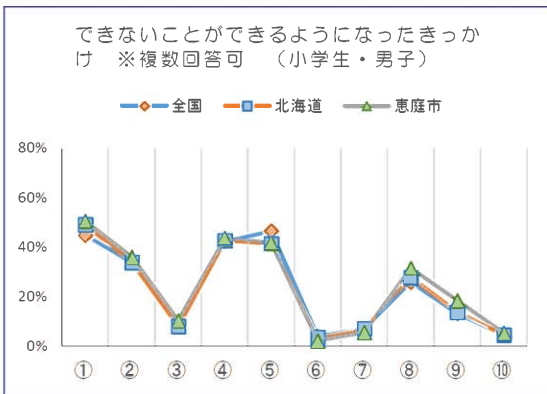
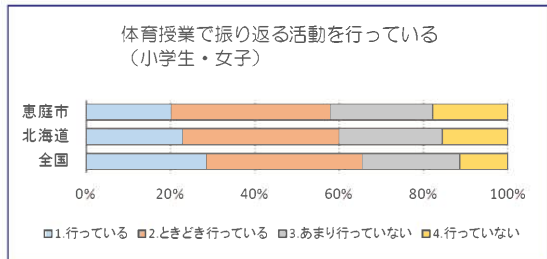
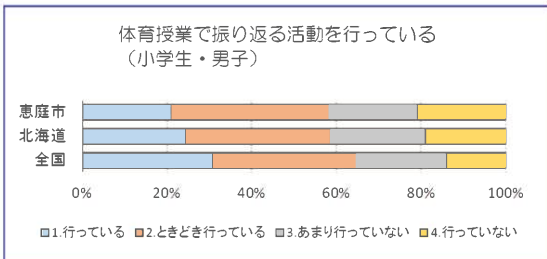
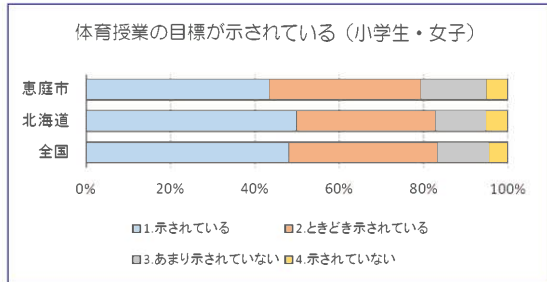
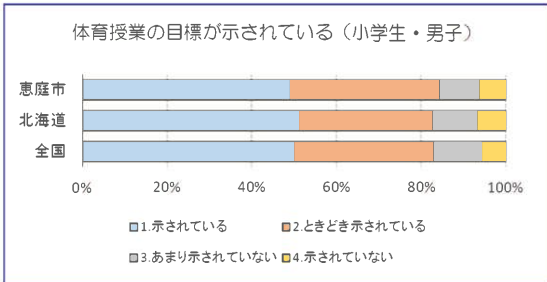
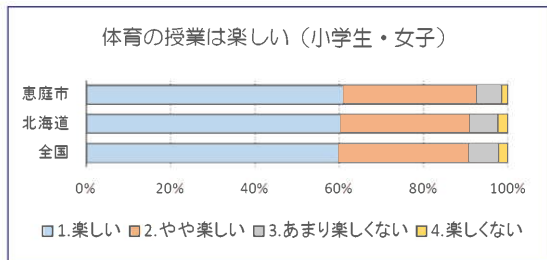
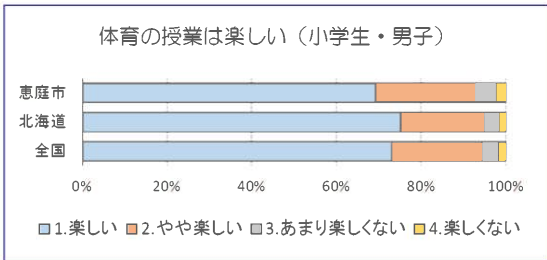
登校方法（小学生・女子）





体育の授業について

㊦体育授業が「楽しい」と回答した割合は、全国・全道平均と比較すると男子はやや下回り、女子はやや上回っている。  
 ㊦体育授業の目標が「示されている」と回答した割合は、全国・全道平均と比較すると、男女ともに下回っている。  
 ㊦体育授業で振り返る活動を行っていると回答した割合は、全国平均と比較すると男女ともに大きく下回っており、全道平均と比較すると男女ともにやや下回っている。  
 ㊦できないことができるようになったきっかけとして、男子は「授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」と回答した割合が、女子は「友達に教えてもらった」と回答した割合が最も高くなっている。また、女子については、「授業外の時間に自分で練習した」と回答した割合が全国平均と比較して上回っている。

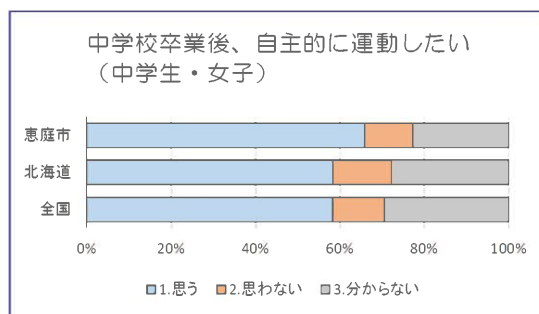
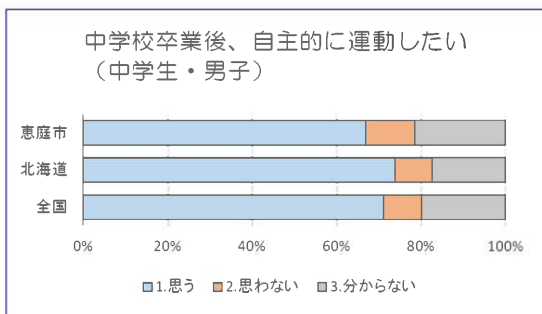
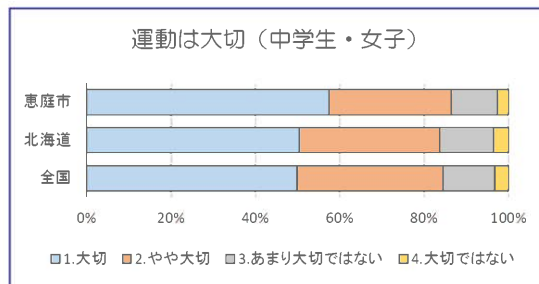
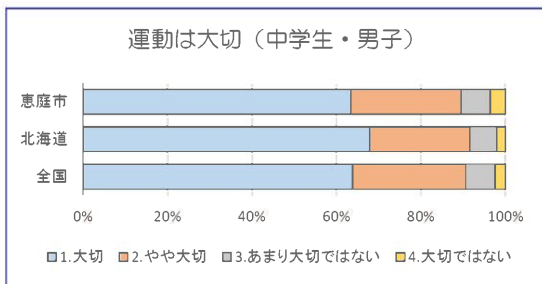
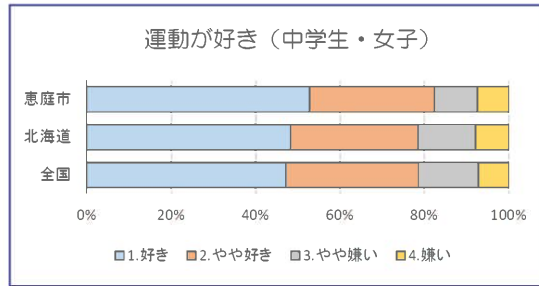
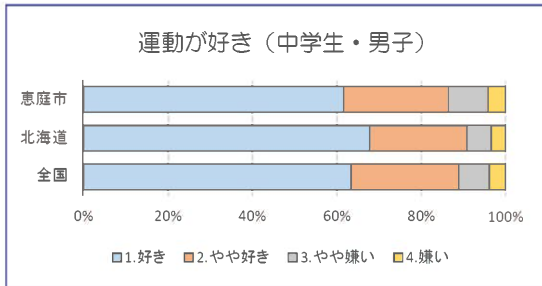


- ① 授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- ② 授業中に自分で工夫して練習した
- ③ 自分に合った場やルールが用意された
- ④ 先生や友達のまねをしてみた
- ⑤ 友達に教えてもらった
- ⑥ 授業中に自分の動きを撮影したビデオを見た
- ⑦ 授業外の時間に先生に教えてもらった
- ⑧ 授業外の時間に自分で練習した
- ⑨ 授業外の時間に自分で本を読んだりビデオを見たりした
- ⑩ できるようになったことがない

## 7 児童生徒質問用紙調査の結果（中学校）

### 運動に対する意識

- ㊦運動が「好き」と回答した割合については、全国・全道平均と比較すると、男子はやや下回っており、女子はやや上回っている。
- ㊦運動が「大切」と回答した割合について、全国平均と比較すると、男子はほぼ同程度で、女子はやや上回っている。全道平均と比較すると、男子はやや下回っており、女子はやや上回っている。
- ㊦中学校卒業後、自主的に運動したいと「思う」と回答した割合は、全国・全道平均と比較すると、男子はやや下回っており、女子はやや上回っている。

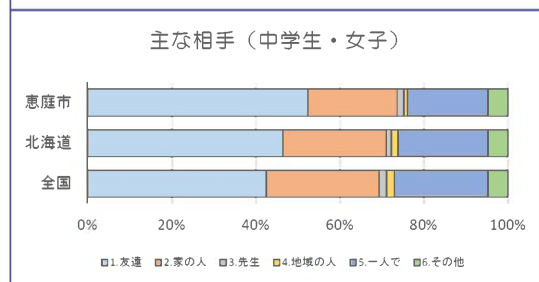
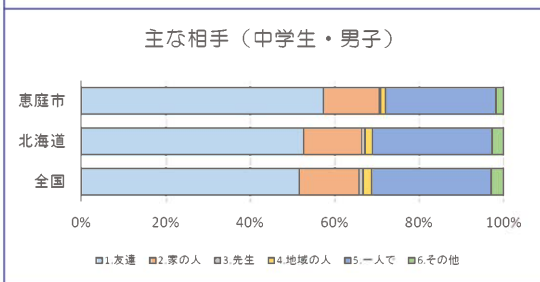
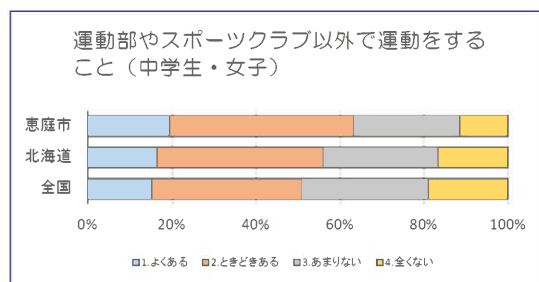
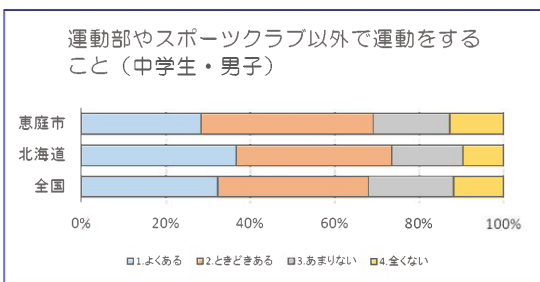
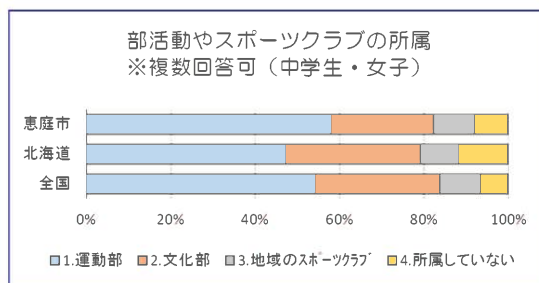
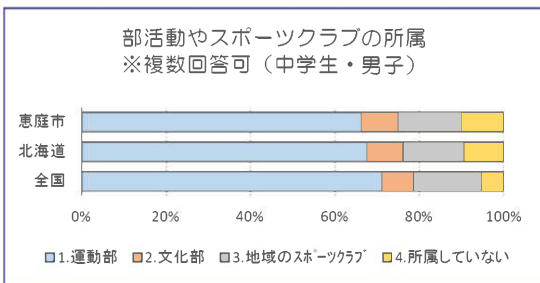
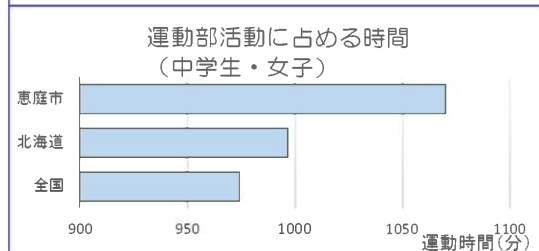
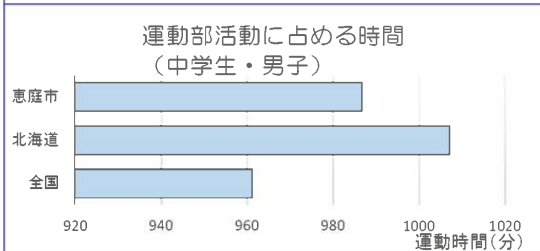
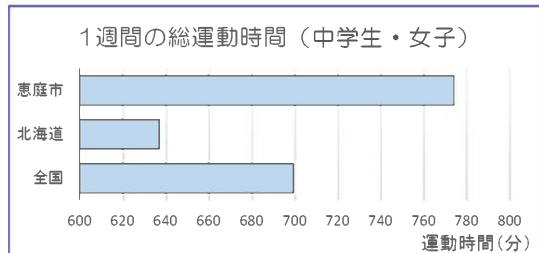
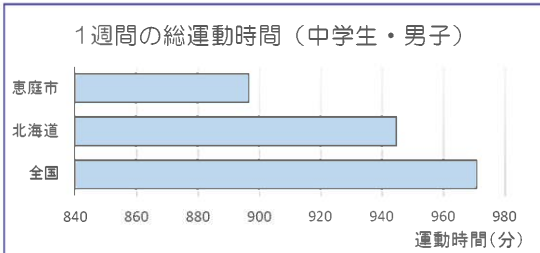


## 運動習慣について

㊦ 体育の授業以外の運動やスポーツの時間について、1週間の総運動時間を全国・全道平均と比較すると、男子は下回っており、女子は上回っている。また、その時間のうち運動部活動に占める時間は、男子は全国平均を、女子は全国・全道平均を上回っている。

㊦ 運動部やスポーツクラブの所属について、「運動部」に所属していると回答した割合は、全国平均と比較して、男子はやや下回っており、女子はやや上回っている。全道平均と比較すると、男子はやや下回っており、女子は大きく上回っている。

㊦ 運動部やスポーツクラブ以外で運動をすることが「よくある」と回答した割合について、全国・全道平均と比較すると、男子はやや下回っており、女子はやや上回っている。主な相手としては、男女ともに「友達」という回答が多く見られる。



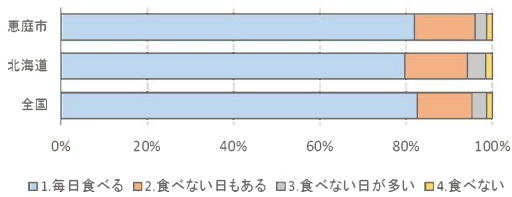
## 生活習慣について

㊦朝食を「毎日食べる」と回答した割合について、全国平均と比較して、男子はほぼ同程度で、女子はやや上回っている。また、全道平均と比較すると、男女ともにやや上回っている。

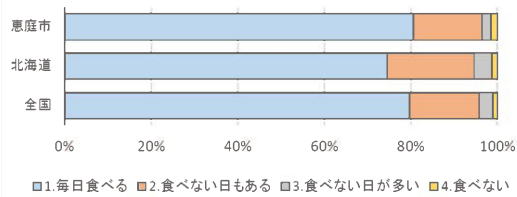
㊦夕食を「時間は決まっていないが毎日食べる」と回答した割合について、全国・全道平均と比較すると、男女ともにやや上回っている。また、「食べない日もある」と回答した割合は、全国・全道平均と比較して男子はやや上回っており、女子はやや下回っている。

㊦登校方法について、「徒歩」と回答した割合が男女ともに最も高く、全国・全道平均と比較して大きく上回っている。

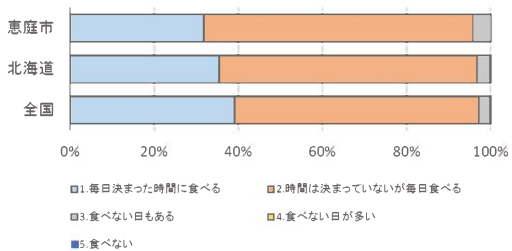
朝食を食べる（中学生・男子）



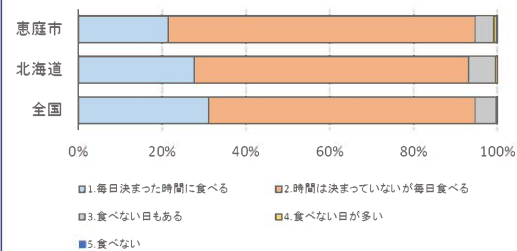
朝食を食べる（中学生・女子）



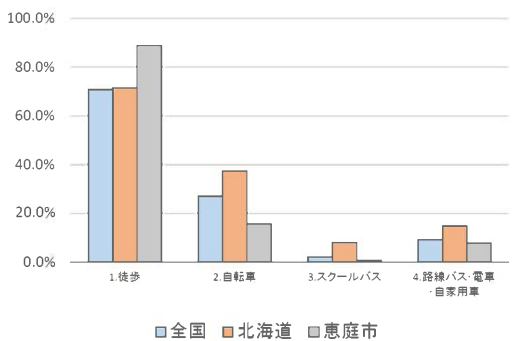
夕食を食べる（中学生・男子）



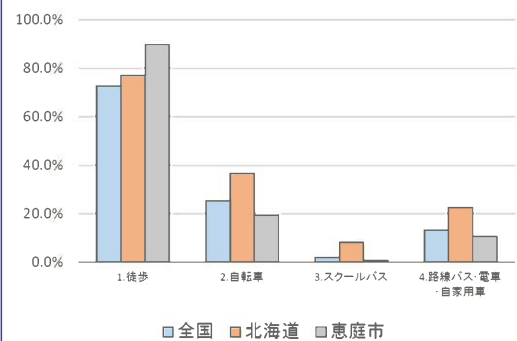
夕食を食べる（中学生・女子）



登校方法（中学生・男子）



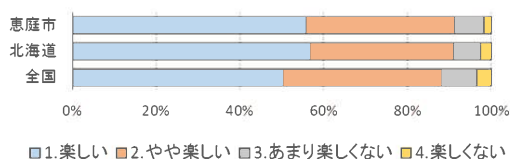
登校方法（中学生・女子）



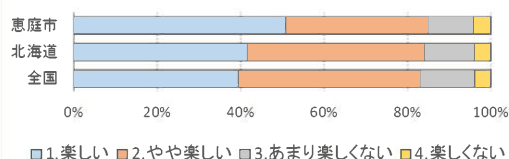
## 保健体育の授業について

- ㊦保健体育の授業が「楽しい」と回答した割合は、全国平均と比較すると男女ともに上回っており、全道平均と比較すると男子はやや下回っており、女子は上回っている。
- ㊦保健体育授業の目標が「示されている」と回答した割合は、男子は全国・全道平均と比較してやや下回っている。女子は全国・全道平均と比較して上回っている。
- ㊦保健体育授業で振り返る活動を行っている」と回答した割合は、男子は全国・全道平均と比較して下回っており、女子は全国・全道平均を上回っている。
- ㊦できないことができるようになったきっかけとして、男女ともに「友達に教えてもらった」と回答した割合が最も高くなっている。

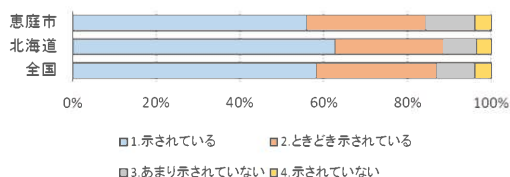
保健体育の授業は楽しい（中学生・男子）



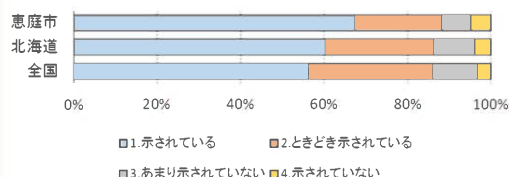
保健体育の授業は楽しい（中学生・女子）



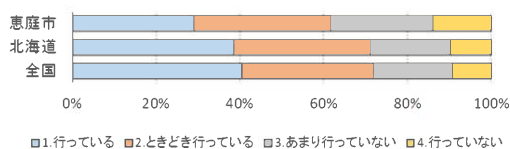
保健体育授業の目標が示されている（中学生・男子）



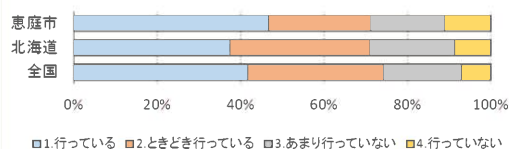
保健体育授業の目標が示されている（中学生・女子）



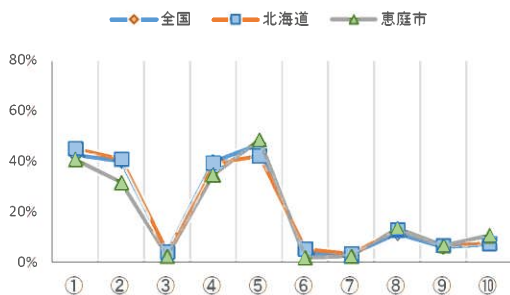
保健体育授業で振り返る活動を行っている（中学生・男子）



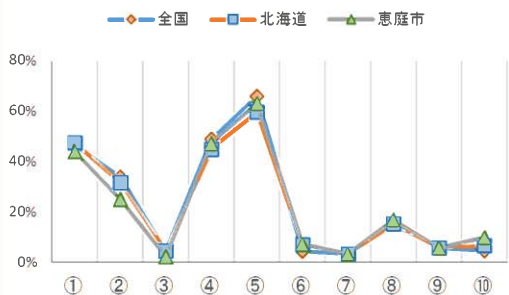
保健体育授業で振り返る活動を行っている（中学生・女子）



できないことができるようになったきっかけ ※複数回答可（中学生・男子）



できないことができるようになったきっかけ ※複数回答可（中学生・女子）



- ① 授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- ② 授業中に自分で工夫して練習した
- ③ 自分に合った場やルールが用意された
- ④ 先生や友達のまねをしてみた
- ⑤ 友達に教えてもらった
- ⑥ 授業中に自分の動きを撮影したビデオを見た
- ⑦ 授業外の時間に先生に教えてもらった
- ⑧ 授業外の時間に自分で練習した
- ⑨ 授業外の時間に自分で本を読んだりビデオを見たりした
- ⑩ できるようになったことがない

- ② 授業中に自分で工夫して練習した
- ④ 先生や友達のまねをしてみた
- ⑥ 授業中に自分の動きを撮影したビデオを見た
- ⑧ 授業外の時間に自分で練習した
- ⑩ できるようになったことがない

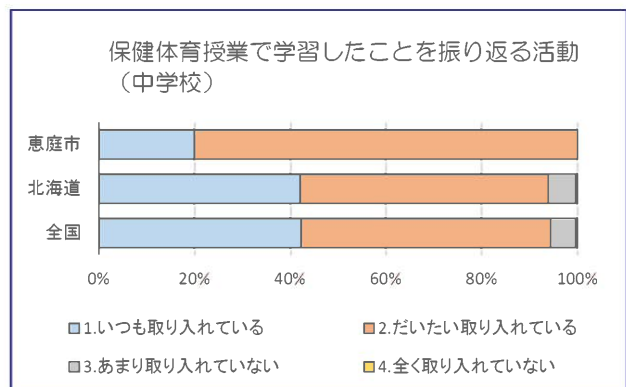
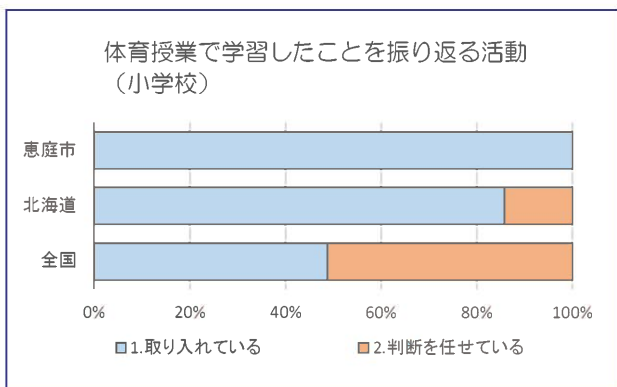
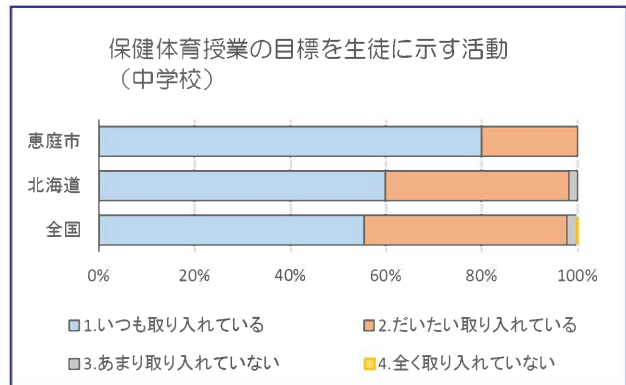
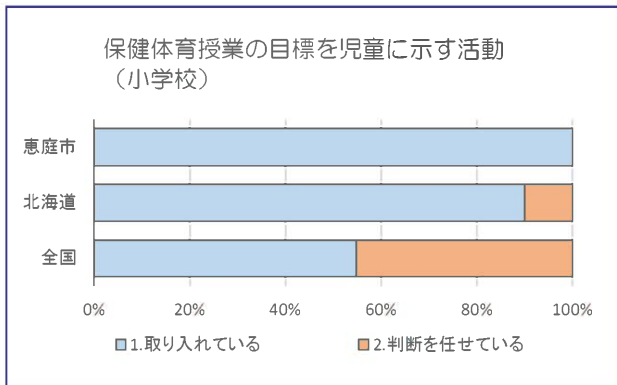
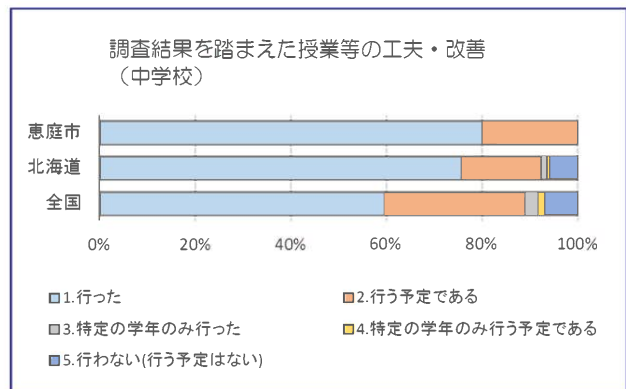
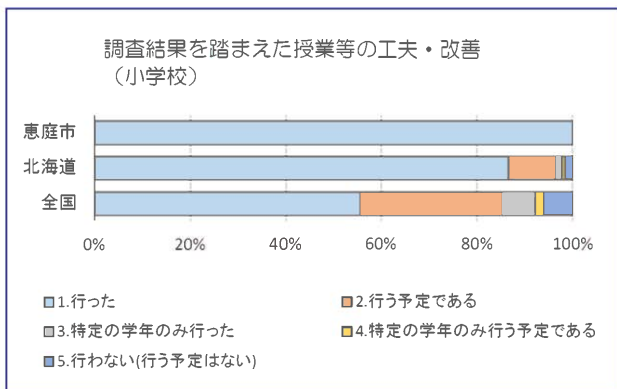
## 8 学校質問紙調査の結果 (小・中学校)

### 保健体育授業について

①調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を「行った」と回答した割合は、小・中学校ともに全国平均を大きく上回り、また「行う予定である」と回答した学校と合わせると100%となる。

②保健体育授業の目標を児童生徒に示す活動を「いつも取り入れている／だいたい取り入れている」と回答した学校は、小・中学校あわせて100%であり、全国・全道平均と比較してわずかに高い割合である。

また、保健体育授業で学習したことを振り返る活動を「いつも取り入れている／だいたい取り入れている」と回答した割合についても、小・中学校あわせて100%である。

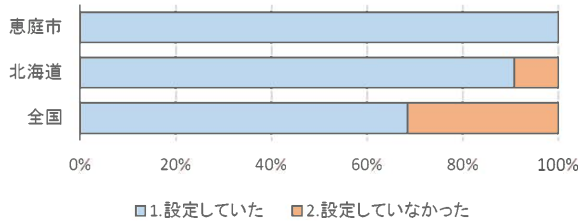


## 保健体育授業以外の取り組みについて

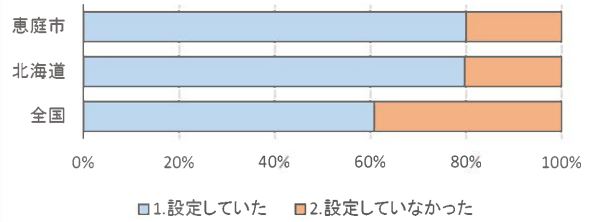
●前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標を「設定していた」と回答した学校は、小学校では100%であり、全国平均を大きく上回っている。

●前年度、全児童・生徒に対する保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取り組みを「行った」と回答した割合について、小学校は100%で全国・全道平均よりも上回っている。中学校も全国・全道平均と比較すると上回っている。取り組みの内容として、小学校は「縄跳び」や「運動遊び」を行ったという回答が、中学校は「縄跳び」を行ったという回答が多く、それぞれ全国・全道平均を上回っている。

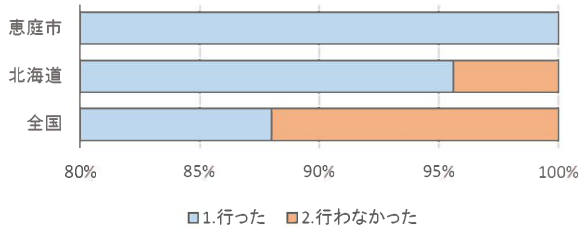
前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標設定（小学校）



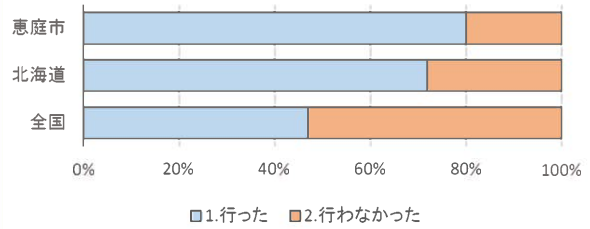
前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標設定（中学校）



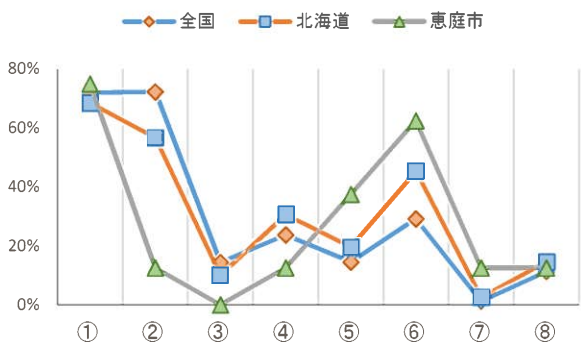
前年度、全児童に対する体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取り組み（小学校）



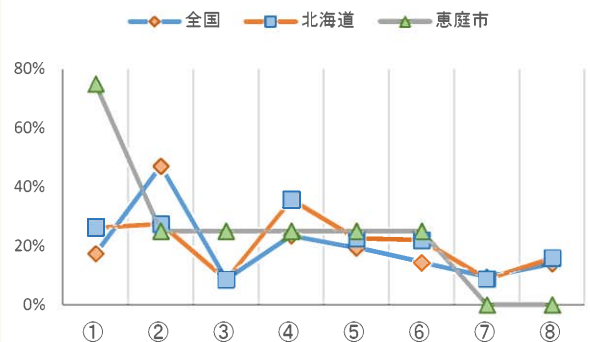
前年度、全生徒に対する保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取り組み（中学校）



体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組における活動内容 ※複数回答可（小学校）



保健体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組における活動内容 ※複数回答可（中学校）

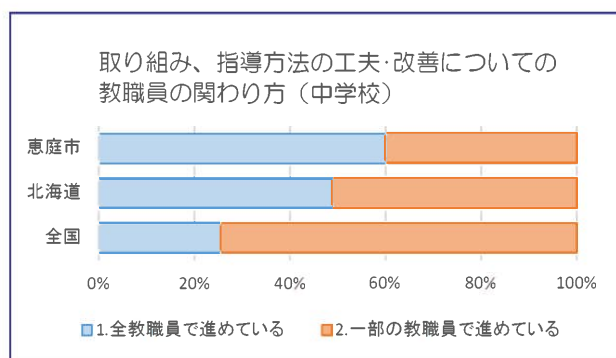
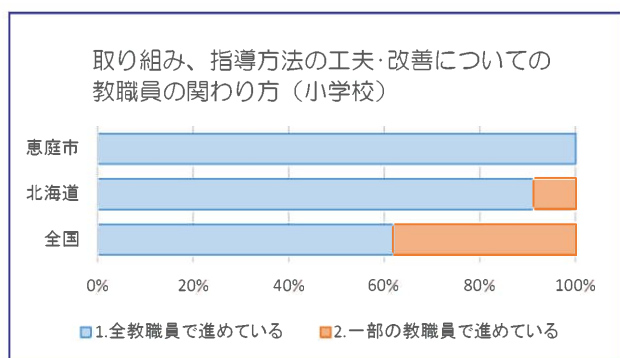
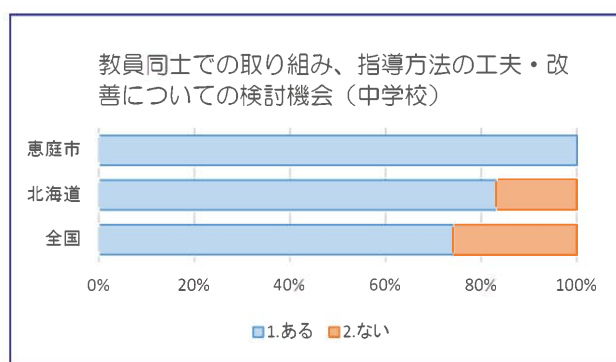
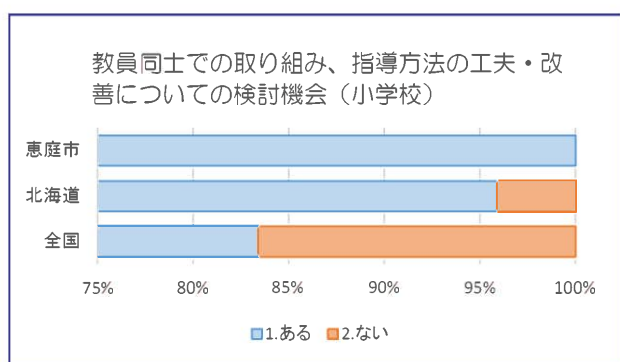


①縄跳び ②ランニング ③体操 ④ボール運動 ⑤複合した運動 ⑥運動遊び ⑦児童生徒の自主性に任せて特定していない ⑧その他

## 学校の組織体制等について

㊦ 教員同士での取り組み、指導方法の工夫・改善についての検討機会が「ある」と回答した割合は、小・中学校ともに100%であり、全国・全道平均を上回っている。

㊦ 取り組み、指導方法の工夫・改善について「全教職員で進めている」と回答した割合は、小学校では100%である。全国・全道平均と比較すると、小・中学校ともに上回っている。



## 「新体カテスト」の実施状況について

㊦ 恵庭市では、小学校において8校中5校以上が全学年で実施しており、特に「4年生・5年生」は全ての学校で実施している。中学校においては、5校全てが全学年で実施している。

※「新体カテスト」・・・文部科学省が国民全体の体力・運動能力調査として策定・実施している体力テストのこと。今回の調査とは異なる。